

## 令和5年8月教育委員会臨時会議事録

- 1 会議日時 令和5年8月31日（木） 10時58分から11時22分まで
- 2 会議場所 15階 中会議室
- 3 出席委員 橋田教育長、中西委員、小原委員、桑原委員、松本委員、北川委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席理事者 教育総務部長、学校教育部長、総務課長、同課課長補佐、生涯学習企画課地域学習係長、生涯学習施設課長、学校教育課長 計7名  
(他議事担当2名：総務課総務係長、総務課主事)
- 6 付議事件
  - (1) 日程1 第48号議案 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価について [総務課]
- 7 傍聴者 なし
- 8 審議経過 以下のとおり（要点記録）

	<p>【10:58 開会】</p> <p>【日程1 第48号議案 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価について】</p> <p>総務課長より説明</p>
委員	<p>藤本先生の傍聴者に関するご意見ですが、教科書採択があるときには数も増えているんですが、普段の定例会のときは、なかなか傍聴者というのはいらっしやらないと思うんですね。そこで、教育委員会がありますというお知らせは、市民に対して、どんなふうに行われているのか、聞かせていただきたいと思います。</p>
総務課長	<p>今現在、広報の方法としては、ホームページのほうに掲載をするという形のみになっておりまして、それを見にきていただかないと見られないという状況で、プッシュ型のような、こちらからSNS等を使って発信するということまでしていないというのが実情でございます。</p>
委員	<p>私もそのことはちょっと気になっていたんですけど、誰に発信するかということがですね。場合によっては、例えば、学校の改修問題とか、あるいは、給食問題とかは、関連のある方々に、会議をしますというような案内だけでも出してみる、というようなターゲットを絞って、案内だけでもするという方法もあるのかなと思います。</p>

総務課長	確かに、ターゲットというところでは、その内容が、どなたが興味を持つのかなということもあります。市役所の広報の仕方では、報道に投げ込むとか、そういったものが一番効果が大きいのかなと思います。事務局で、ターゲットを絞るやり方や、ホームページだけではなくて、他にも媒体を使う方法も、検討させていただきたいと思います。
委員	やはり透明性の確保とか、僕らも見られていると気が引き締まって、意識が高まるという意味合いもあるのかなという中で、他都市の教育委員会などで、例えば、オンラインでもライブで配信しているとか、SNSを活用してどうやって発信をしているとか、何か例があれば、参考にもなるのかもしれないですね。
総務課長	そこも含めて、参考になるところがないかを確認した上で、検討をさせていただきたいと思います。
委員	広報ながさきには載っていないんですよね。
総務課長	広報ながさきは、数カ月前に原稿をつくるということになっているので、日程を押さえている場合はできますけれども、継続的に掲載するのがちょっと難しいのかなと思います。
教育長	広報ながさきもあるんですけど、今、様々な媒体が、SNSを含めてありますので、そのあたりであるとか、他都市がどうされているとか、たまに県の教育委員会が、社会的に問題がある議案があるときには、多分マスコミ側が取材に来てという形でオープンになっている場面もあったりしていますので、マスコミへの周知も含めて、少し研究をさせていただければと思います。
委員	学校運営協議会制度と家庭教育力向上のための取組が一体的に実施される工夫の支援が必要と考えるという藤本先生のご意見があるんですけども、これは多分ファミリープログラムですかね。家庭教育のほうは、一体的にできるものかどうかということで、この評価が妥当なのかどうか、どういうふうに受け止められていますか。
学校教育課長	家庭教育力向上のためにファミリープログラムを活用するということは、各学校で行われていることをごさいますして、「学校運営協議会制度と」という言葉があるものですから、今後は、コミュニティスクールの推進をしていく中で、計画的にファミリープログラムを入れるとか、あとはまた別の工夫をしながら、各家庭への協力依頼ですとか、様々な連携をとるような計画を行う方向でという意味かなと、私は受け取っておりました。現状、行われているというところもごさいますので、それを強化していくという方向で、検討すべきことがあれば、取り組んでいきたいと思います。
委員	藤本先生のご意見で、「幼保のICT環境や活用できる人材は限定されていると聞く」と一文入っているんですけども、これは、具体的にどんな意

<p>総務課長</p>	<p>味で書かれているのかなど。幼保の I T C の環境が整っていない、それから、それを活用できる方がいないというふうに受け取っていいのかなと思うんですけど、どうなんですか。</p> <p>幼稚園とか保育園のネット環境や I C T 機器の整備がまだ十分でない部分とか、それを使うのに慣れていない人がいないという意味で書かれているんだろうと思います。これは国からの補助金とか、整備に対する支援とか、そういうものはあってはいるので、少しずつは充実してきてはいるんでしょうけれども、一般的に限定されているというようなご意見が出されているということだと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>コロナのときに、補助制度があって、幼稚園や認定こども園などその助成制度を活用しての機器の整備などは、行ったということは記憶にありますね。桑原委員に質問なんですけど、例えば、幼保の現場の中で子どもたちが使うということはないんですよね。</p>
<p>委員</p>	<p>私も、そこはどっちの意図なのかなと思って、I C T の推進は、補助金が出ていたりして、子どもの出欠から始まって、保護者との連絡等も大分環境は整ってきているので、そういう面では進んでいるのかなと思うんですけど、教育の面での活用を言われているのか。それだと、その園ごとの方針があるので、なかなかそれをどの園でも進めてくださいというのは、無理があるんじゃないかなと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>そうですね。小学校でも、学年に応じて、活用の頻度は、低学年と中高学年では違ってくると思うので、教育の現場の中の活用というのはなかなかまだ研究自体が進んでいないのかなと感じはするんですけどね。いわゆる校務というか、業務、事務に使うという意味では、おっしゃっているように、少しずつではあるけど進んでいるということですか。</p>
<p>委員</p>	<p>はい。</p> <p>—第48号議案 原案のとおり可決—</p> <p style="text-align: right;">【11：22閉会】</p> <p>署名委員</p> <p>-----</p> <p>署名委員</p> <p>-----</p>